

地域アクションプラン

～取り組みの成果と今後の方向性～【安芸地域】

農業

林業

水産業

観光

その他

【資料4】

取組の成果と今後の方向性

◎総評
全34項目の地域アクションプランについて、実行支援チームを編成し、それぞれのプランの目標の達成を目指して取り組みを進めている。
その結果、目標達成に向けて克服すべき課題が残されたものもあるが、ユズの青果輸出におけるヨーロッパとの取引の定着化や、シラス加工施設の整備による新たな雇用の創出等の成果も現れてきている。
また、観光面では、地域博覧会開催を契機として、室戸ジオパークの新たな拠点施設が整備されたほか、「廊中ふるさと館」や「芸西村伝承館」がリニューアルされるなど、東部地域の観光資源の魅力向上が図られた。
今後とも、市町村や関係団体、民間事業者等との連携協働により、それぞれの目標達成に向けて各地域アクションプランの取り組みを推進していく。

※地域アクションプランによる雇用の創出（H24～H26） 15人

◎各分野の取組の成果と今後の方向性

・農業分野
ユズについては、ヨーロッパ諸国に3年連続で約3tの青果を輸出（JA土佐あき）するとともに、加工品の販売額が約11.1億円増加（H26実績、対H21比）（JA馬路村）する等、成果が上がっている。今後は、ユズが将来にわたって安定した生産・出荷・販売ができるよう、園地の維持管理や販路の拡大に取り組む。

・林業分野
「土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化」の取り組みでは、共同利用窯（H25:4基）の整備等により、販売額や新規就労者が増加している。今後は、事業主体の組織力の強化や原木の安定調達といった課題に取り組み、土佐備長炭のさらなる生産拡大と後継者の育成を目指す。

・水産業分野
「芸東地域の水産物の付加価値の向上と販路の拡大」の取り組みでは、「土佐沖どれ金目鯛」のブランド名で関西市場を中心に売り込み等を行った結果、高級食材としてのキンメダイの認知度が向上し、平均単価の上昇につながった。今後は、キンメダイの取り組みは継続しつつ、大敷き網の漁獲物を使った加工品の製造・販売等、水産物の付加価値向上に向けた取り組みにも注力していく。
また、「加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上」の取り組みでは、シラス加工施設の整備（H24）により、売上額が増加したほか、新たな雇用も創出された。今後は、更なる経済効果に繋がるよう、飲食店等を巻き込んだ取り組み等を進めていく。

・観光分野
本年4月29日に開幕した「高知家まるごと東部博」を契機として、新たな体験活動のメニュー化が図られる等、東部地域観光の魅力が向上した。今後は、「高知家まるごと東部博」の成果を後年につなげていくため、まずは、年度内の9市町村が一体となった広域観光組織の設立に取り組む。

・その他
地場産品直販所「かっぱ市」（芸西村）の「黒糖みつ」など、それぞれの地域で地域の1次産品等を活用した新たな加工品が誕生するとともに、道の駅等直販所で、これら新商品の販売が活発になった。今後はこのような取り組みがさらに活発になるよう、1次産品加工施設を新たに建設し、商品開発をさらに進めるとともに、道の駅等直販所の販売体制の充実を図る。

主要な指標及び目標

項目	出発点 (2期計画策定時)	目標（H27）	直近値（H26）
ナス（土佐鷹）の作付面積	H23：29.1ha	H27：80ha	H26：23.8ha
ユズの加工仕向量	H22：4,250t	H27：4,670t	H26：4,489t
園内主要施設訪問者数	H23～25平均： 2,180,000人	H27： 2,556,000人	H27： 2,556,000人 (見込)
園内宿泊者数 ※県旅館ホテル生活衛生 同業組合調べ	H23～25平均： 133,000人	H27：150,000人	H26： 137,935人

主な支援策の活用状況

- 産業振興推進総合支援事業費補助金 10事業 211,808千円
- 観光拠点等整備事業費補助金 38事業 376,671千円
- (H24～26実績額、ただし、H27へ繰越したものは交付決定額を集計)
- 専門家の派遣（産業振興アドバイザー事業） 17件、延べ47回

●ユズを中心とした中山間振興【室戸市、安芸市、安田町、北川村】

ユズ

＜JA土佐あき＞

取組の内容

- 青果の生産拡大と果実品質向上のための新植・改植の推進



主な成果

- 青果出荷受入量 297t(H22) → 449t(H26)
- フランス等ヨーロッパ諸国に3年連続で約3トンの青果を輸出

今後の方向性

- 産地の維持に向けたユズ園を維持管理する仕組みづくり
- 青果輸出の維持と、果汁輸出の拡大

●地場産品直販所「かっぱ市」の機能強化【芸西村】

「かっぱ市」＜芸西村、(有)かっぱ市、生産者グループ＞

取組の内容

- 店内調理場を利用した加工品の製造・販売
- 新商品（黒糖みつ）の開発・販売

主な成果

- 売上額 87,000千円(H22) → 135,000千円(H26)

今後の方向性

- 品揃えの充実
- 販売体制の強化

●安芸地域の観光振興の推進～東部地域博覧会の開催～【安芸地域全域】

東部地域博覧会 ＜安芸広域市町村圏事務組合、高知県東部地域博覧会推進協議会等＞

取組の内容

- 東部地域博覧会の実施計画策定
- 旅行商品づくり
- 観光拠点等の整備・磨き上げ

主な成果

- 新たなスペシャルイベント(9)と体験プログラム(15)の造成
- イベントへの参加人数延べ10,530人

今後の方向性

- 広域観光組織の設立
- 新たな旅行商品の造成と販売

●世界ジオパーク認証を活かした観光の振興【室戸市】

室戸ジオパーク ＜室戸市、室戸ジオパーク推進協議会＞

取組の内容

- ジオパーク拠点施設の整備(H26)
- ジオガイドの養成

主な成果

- ジオガイド登録者数 20人(H22)→57人(H26)
- ジオパーク関係施設来訪者 53,473人(H22)→86,581人(H26)

●加工体制の強化等によるシラスの魚価等の向上【安芸市】

シラス

＜民間企業、安芸漁協、安芸おじゃ娘＞

取組の内容

- 最新式の設備を導入した加工施設の整備(H24)
- シラスの飲食施設のオープン(H25.8月)



主な成果

- 水揚げ金額 189,231千円(H23) → 202,000千円(H26)
- 加工施設売上額 0円(H23) → 110,000千円(H26)
- 雇用の創出 19人(うち長期7人、短期12人)

今後の方向性

- 地元漁業者との連携による生産拡大
- 営業活動の強化、新商品の開発



●ユズを中心とした中山間振興【馬路村】

ユズ

＜JA馬路村＞

取組の内容

- アルミ缶対応ドリンク充填ラインの整備(H26)による飲料商品の改良



主な成果

- 加工品販売額 化粧品 1,700万円(H21) → 1億7800万円(H26)
- ポン酢他ユズ加工品 20億円(H21) → 30.3億円(H26)

今後の方向性

- 産地の維持に向けたユズ園を維持管理する仕組みづくり
- 果汁及び加工品の販売拡大

●海の駅を拠点とした地域振興【東洋町】

「海の駅」東洋町

＜東洋町＞

取組の内容

- 海の駅のオープン(H26.1月)
- フェイスブックによる情報発信
- 地域特産品を活用した飲食メニューの提供

主な成果

- 来場者数 34,280人(H26.1～3)→157,834人(H26)
- 雇用の創出 11人(うち長期9人、短期2人)
- 売上額 31,115千円(H26.1～3)→141,982千円(H26)

今後の方向性

- 運営体制の強化
- 地域特産品を活用した加工品の確保
- 地域の観光情報の発信



●土佐備長炭の生産・出荷・販売体制の強化【東洋町、室戸市】

土佐備長炭

＜土佐備長炭生産組合、室戸市木炭振興会＞

取組の内容

- 共同窯の整備 4基増設(H25)
- 備長炭生産者の育成
- 室戸市木炭振興計画の策定

今後の方向性

- 共同利用窯の増設
- 量産体制の強化
- 人材の育成

主な成果

- 生産者の増加 4名
- 新規研修生の受入 5名
- 販売額 土佐備長炭生産組合 143百万円(H22)→178百万円(H26)
- 室戸市木炭振興会 64百万円(H22)→120百万円(H26)



今後の方向性

- 拠点施設の円滑な運営
- ジオガイド養成、ジオツアー等の受入体制強化